

『麻しん』感染防止のための予防対策

宮崎市保健所 健康支援課

1. 麻しんとは

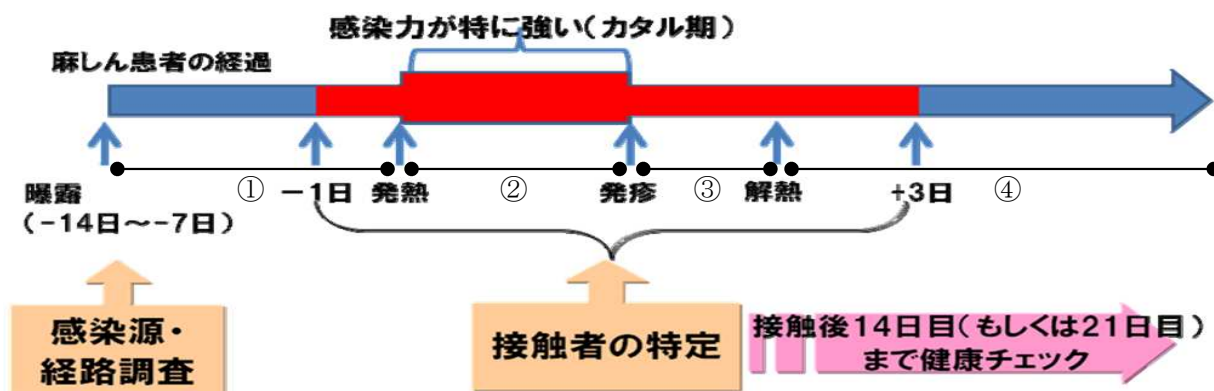
- ◎ 麻しんウイルスが原因で発生する感染症で「はしか」とも呼ばれます。
- ◎ 感染力が非常に強く、肺炎や中耳炎、脳炎等の合併症を起こすこともあります。

2. 感染経路

空気、飛沫、接触感染です。

3. 症状

- ①【潜伏期間：10～14日】特に自覚症状はありません。
 - ②【カタル期：2～4日】38℃前後の発熱、咳、鼻水、くしゃみ、結膜充血、目やに倦怠感などの症状が現れ、発疹の現れる1～2日前に頬粘膜に白い水疱（コプリック斑）が出現します。
 - ③【発疹期：3～4日】体温が一度下がった後、再び高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、特有の発疹が耳の後ろ首、顔から出始め、体幹、上肢、下肢に広がります。
 - ④【回復期：7～9日】熱は下がり、発疹も消失します。ただし発疹は黒ずんで色素沈着となり、しばらく残ります。
- ★注意：合併症として肺炎や中耳炎、脳炎をおこすことがあります。
- ◎ 感染期間：症状が出る1日前から発疹出現後4～5日目くらいまでです。



4. 感染予防方法

- ◎ 唯一の感染予防方法はワクチン接種で、麻しんに対する免疫をあらかじめつけておくことです（ただし妊婦は接種できません）。
- ◎ 麻しんワクチンは、麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）が現在一般的です。予防接種法に基づく定期予防接種の対象者は接種費用が無料です。

第1期：1歳児

第2期：小学校入学前の児童

- ◎ 定期予防接種の対象者以外は任意接種となり、自己負担が発生します。

<その他>

学校保健安全法では、第二種の感染症とされており解熱した後3日間は出席停止となっています。

※参考にした資料：国立感染症研究所「麻しん Q&A」、東京都感染症マニュアル2009

麻疹発生時対応ガイドライン〔第二版：暫定改訂版〕